

【C年】

聖霊降臨後第二十二主日

特定二十七

全能の神よ、何ものもあなたの支配に逆らうことはできません。どうかこの世の変動の中においても、常にみ国の到来とみ心の成就を望み、確かな信仰をもつてひたすら主に仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はヨブ記第十九章二十三節から」

23どうか

わたしの言葉が書き留められるように

24 碑文として刻まれるように。
たがねで岩に刻まれ、鉛で黒々と記され
いつまでも残るように。

25 わたしは知っている

わたしを贖う方は生きておられ

ついには塵の上に立たれるであろう。

26 この皮膚が損なわれようと

この身をもつて

わたしは神を仰ぎ見るであろう。

27 このわたしが仰ぎ見る

ほかならぬこの目で見える。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第十七編 一八節

1 主よ、わたしの正しい訴えと叫びに心を留め＝偽

りのない祈りに耳を傾けてください

2 正しい審きをわたしに現し＝分け隔てのない目を注

いでください

- 3 あなたは夜、わたしを訪れ、心を試されても＝あなたは何もよこしまを見いだされない。わたしは口で罪を犯さない
- 4 人の行いのことを言えば＝わたしはみ言葉に従い、暴力の道を選けた
- 5 わたしの歩みはあなたの道を堅く守り＝わたしの足はよろけなかった
- 6 神よ、あなたを呼ぶわたしにこたえ＝耳を傾けて願いを聞いてください
- 7 あなたのもとに逃れるものを力強く救い＝慈しみの業を現してください
- 8 ひとみのようにわたしを守り＝み翼の陰に隠してください

使徒書

朗読者 「使徒書はテサロニケの信徒への手紙Ⅱ第二章十三節から」

13 しかし、主に愛されている兄弟たち、あなたがたのことにについて、わたしたちはいつも神に感謝せずにはいられません。なぜなら、あなたがたを聖なる者とする“霊”の力と、真理に対するあなたがたの信仰とによって、神はあなたがたを、救われるべき者の初穂としてお選びになったからで

す。14 神は、このことのために、すなわち、わたしたちの主イエス・キリストの栄光にあずからせるために、わたしたちの福音を通して、あなたがたを招かれたのです。15 ですから、兄弟たち、しっかりと立って、わたしたちが説教や手紙で伝えた教えを固く守り続けなさい。16 わたしたちの主イエス・キリスト御自身、ならびに、わたしたちを愛して、永遠の慰めと確かな希望とを恵みによって与えてくださる、わたしたちの父である神が、17 どうか、あなたがたの心を励まし、また強め、いつも善い働きをし、善い言葉を語る者としてくださるように。

1 終わりに、兄弟たち、わたしたちのために祈ってください。主の言葉が、あなたがたのところであつたように、速やかに宣べ伝えられ、あがめられるように、2 また、わたしたちが道に外れた悪人どもから逃れられるように、と祈ってください。すべての人に、信仰があるわけではないのです。3 しかし、主は真実な方です。必ずあなたがたを強め、悪い者から守ってください。4 そして、わたしたちが命令することを、あなたがたは現に実行しており、また、これからもきつと実行してくれることと、主によって確信しています。5 どうか、主が、あなたがたに神の愛とキリストの忍耐とを深く悟らせてくださるように。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第二十章二七節以下に記され
た主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

27 さて、復活があることを否定するサドカイ派の人々が
何人か近寄って来て、イエスに尋ねた。

34 イエスは言われた。「この世の子らはめとったり嫁いだ
りするが、35 次の世に入って死者の中から復活するのにふ
さわしいとされた人々は、めとることも嫁ぐこともない。36
この人たちは、もはや死ぬことがない。天使に等しい者で
あり、復活にあずかる者として、神の子だからである。37 死者
が復活することは、モーセも『柴』の個所で、主をアブラハ
ムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んで、示している。38
神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。す
べての人は、神によって生きているからである。」

司祭 「主に感謝」
会衆 「主に感謝します」